

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

備えよう、9/3は『米雇用統計の日』 (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 田中春菜

今週のドル円予想レンジ **108.00 ~ 110.50**

りそなWEEKLY COLUMN

読者への挑戦 X VII – 前編 –

～ 父さんが残した熱い想い (P3)

関西みらいフィナンシャルグループ
ストラテジスト 石田 武

- 読者への挑戦 X VII
- 桜井駅跡と桜井の別れ
- 親子上場のメリット・注意点と今後の動き ～東証再編に向けて～
- 解決編 (?)

2021/8/30

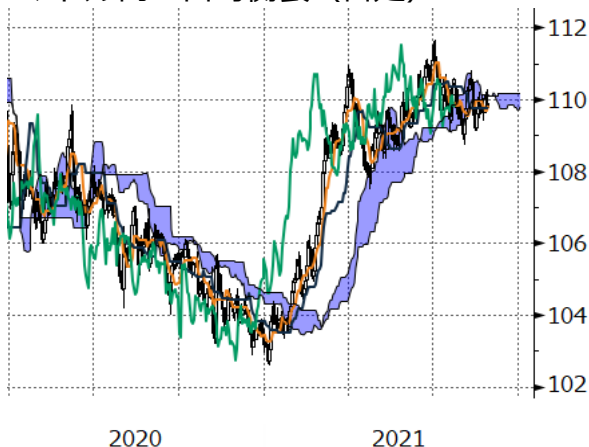
りそな外為レポート

備えよう、9/3は『米雇用統計の日』

今週のドル円予想レンジ **108.00 ~ 110.50**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表（日足）



◆為替相場のすすめ

先週のドル円は米国のテーパリング開始時期を模索しながら、米金利を横目に方向感なく推移した。注目されていたジャクソンホール会合は、パウエル米FRB議長が年内のテーパリング開始を肯定するも、具体的な内容については言及しなかった為、早期テーパリング観測が後退し、米金利の利回りは低下。ドル円は109円80銭台まで下落した。

今週の注目材料は、週末に発表を控える米雇用統計か。デルタ株の懸念を払拭できない中、テーパリング開始時期の決め手となるのは雇用の堅調さであると思われる。結果次第では、『動く動く詐欺』になりつつあるドル円も上下に振れる局面があると思われ、今度こそ固唾をのんで待つより、リーブオーダーで保険をかけていただく事を推奨したい。

(カスタマーディーラー 田中春菜)

◆ 今週の日程

31日(火) 日 7月鉱工業生産
31日(火) 日 7月労働力調査
31日(火) 中 8月PMI
31日(火) 米 8月消費者信頼感指数
1日(水) 日 21/2Q法人企業統計

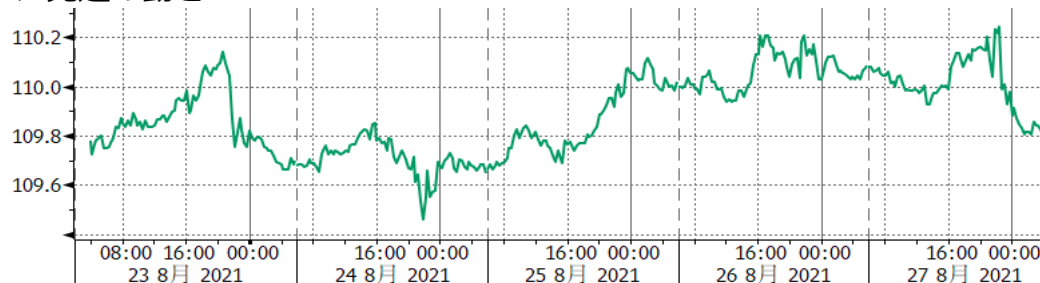
1日(水) 米 8月ISM製造業景況指数
1日(水) 米 8月ADP雇用統計
2日(木) 米 7月製造業受注
3日(金) 米 8月雇用統計
3日(金) 米 8月ISM非製造業景況指数

◆ 今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓)

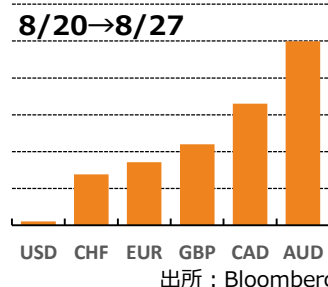
NY引け値 8月27日(金) 109.84円 VS 9月3日(金)

東京					大阪(りそな)					埼玉				大阪(関西みらい)				神戸													
井口	小林伸	石川	田中	中里	范	伊藤	村永	岩田	小林翔	上野	曾根	鈴木	武富	湊真	中太	石井	中根	津田	佐藤	中山	内田	荻窪	藤森	三好	石田	尾股	中野	荻谷	辻村	山木	下川
↓	↑	↓	↓	↑	↑	↑	休	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	休	↑	↑

◆ 先週の動き



主要通貨対円パフォーマンス



◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2021/8/30

りそな WEEKLY COLUMN

読者への挑戦XVII - 前編 - ～ 父さんが残した熱い想い ～

- 読者への挑戦XVII
- 桜井駅跡と桜井の別れ
- 親子上場のメリット・注意点と今後の動き ～東証再編に向けて～

関西みらいフィナンシャルグループ
ストラテジスト 石田 武

➤ 読者への挑戦XVII

【読者への挑戦XVII】

次の各企業の組み合わせのうち、東証における「親子上場」の関係にある組み合わせをすべて挙げてください（このレポートの発行日時点、50音順、敬称略）。

- ①イオン - ローソン
- ②伊藤忠商事 - ファミリーマート
- ③ソフトバンクグループ - ソフトバンク
- ④東芝 - キオクシアホールディングス（旧：東芝メモリ）
- ⑤トヨタ自動車 - デンソー
- ⑥日本電信電話（NTT） - NTTドコモ
- ⑦日本郵政 - ゆうちょ銀行
- ⑧ハウス食品グループ本社 - 壱番屋（カレーハウスCoCo壱番屋）
- ⑨三菱商事 - 三菱鉛筆
- ⑩りそなホールディングス - 関西みらいフィナンシャルグループ

JR西日本 駅別乗車人員

順位	駅名
1位	大阪
2位	京都
3位	天王寺
4位	京橋
5位	三ノ宮
6位	鶴橋
7位	広島
8位	神戸
9位	岡山
10位	新大阪
11位	新今宮
12位	高槻
13位	明石
14位	姫路
15位	北新地
16位	茨木

出所：JR西日本
（強調部分は筆者）

JR東海道本線の大阪－京都間は「JR京都線」の愛称でも親しまれ、並走する阪急京都線（大阪梅田－京都河原町）と並んで大阪・京都のビジネス街や繁華街と、北摂地域（大阪府北部）のベッドタウンを結ぶ、関西最大の大動脈のひとつである。主な停車駅は新幹線停車駅でもある新大阪駅、北摂最大の繁華街である高槻駅、中枢中核都市である茨木駅、かつて都が置かれたこともある長岡京駅、明智光秀と羽柴秀吉が雌雄を決した山崎の戦い（天王山の戦い）の舞台となった山崎駅等があり、1日の平均通過人員351千人は、大阪－神戸間（JR神戸線）の385千人に次いで、JR西日本の管轄路線のなかでも最大規模となっている。ちなみにこれは、大阪市内を循環する大阪環状線の293千人をも上回る人数である（出所：JR西日本、2019年度）。

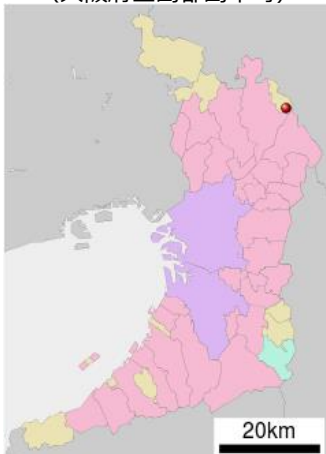
その高槻駅から北へ1駅上った位置に、島本駅という駅がある。地図上の所在地は大阪府三島郡島本町。一見すると何の変哲もない小さな駅であるが、今回はこの島本駅周辺にまつわる、浪漫溢れるエピソードについてご紹介したい。

◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

りそな WEEKLY COLUMN

➤ 桜井駅跡と桜井の別れ

桜井駅跡
(大阪府三島郡島本町)



出所：Wikipedia

父子別れの石像
(近衛文磨揮毫)



出所：Wikipedia

さてさて、紀行小説風の語り口には少し疲れてきたので、いつもの調子に戻させていただきますが、この島本町というのは、大阪府の北東の端に位置していて、隣接する大山崎町まで行くと、京都府に入ります。島本町は水がきれいなことで有名で、お酒が好きな方にとっては聖地のひとつかもしれません。あのウイスキー「山崎」で有名なサントリー山崎蒸留所があるのは、この島本町です（名称は隣の「山崎」ですが・・・）。また、後鳥羽上皇に所縁のある水無瀬神社の湧き水は「日本百名水」のひとつに数えられており、ポリタンクを抱えて湧き水を汲みに来るひとが、いつも行列を作っています。

そんな島本駅を降りると、左手に小さな広場があることに気が付きます。公園というにはやや厳粛な、かと言って空き地と言ってしまうには、どこか荘厳な、なんとも厳かな雰囲気醸し出している広場ですが、ここはあの、「史跡桜井駅跡」史跡公園です。駅と言ってもここでは鉄道の駅ではなく、律令制化で設けられた宿場を意味していますが、この「桜井の駅」は日本史上でも屈指の名場面のひとつである、「桜井の別れ」の舞台となった場所なのです。

南北朝時代（厳密には北朝擁立前なので建武の新政期ですが）、九州にて勢力を盛り返した足利尊氏が大軍を率いて上洛を目指してきた際、朝廷側（後の南朝）は新田義貞を総大将に湊川（兵庫県神戸市）に布陣して迎え撃つ方針を固めます。この時、朝廷側の主力のひとりであった楠木正成は多勢に無勢であることや、勢いに乗る足利勢を警戒し、いったん比叡山へ逃れて都へ誘い込んだうえで殲滅する作戦を献策しますが、度々の動座（天皇が宮中から離れること）を公家衆が嫌ったために、この案は一蹴されます。決死の覚悟を固めた正成は湊川へ南下する途上、この桜井の駅にて嫡男の楠木正行（当時11歳）に今生の別れを告げ、楠木氏の本拠地である河内（大阪府東部）へと逃れさせます。父とともに決戦に臨む覚悟であると懇願する正行に対し、父・正成は「身命を惜しみ、生き延びていつの日か朝敵を滅することこそが忠義である」と諭します。不惜身命という言葉もありますが（元は仏教用語）、まさに真逆の考え方と言ってもいいかもしれませんね。

さて、湊川の本戦では山陽道から足利直義（尊氏の弟）率いる陸軍と海路からの尊氏本隊が合流し、両軍は激しく激突します。途中、新田軍が西宮まで後退したため、孤立した楠木軍は万事休かすと思われましたが、正成・正季（正成の弟）の奮戦により直義軍を須磨まで後退せしめ、返す刀で尊氏本隊に突撃を敢行します。軍神と呼ばれた正成の度重なる突撃により、赤壁の戦いを凌ぐと言われた足利軍の大船団を脅かしますが、やはり多勢に無勢、衆寡敵せず楠木軍は全滅し、湊川に散華します。その後、都まで迫った足利軍に対し、結局朝廷側は比叡山へ逃れることとなったのは皮肉な限りです。楠木正行はその後、南朝を支える武將に成長し、父・大楠公に対して小楠公と呼ばれる活躍を遂げますが、四条畷の戦いにて父と同じように北朝と戦って討ち死。南朝は大きく戦力を削がれますが、

◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

りそな WEEKLY COLUMN

楠公父子訣別之所碑
(乃木希典揮毫)



出所：Wikipedia

北朝側でも尊氏と直義による内乱が勃発し（観応の擾乱）、尊氏が南朝に寝返ったり、楠木氏の棟梁を継いだ楠木正儀が北朝へ寝返ったりと、混迷を極めていきます。このあたりの流れもとても面白いのですが、さすがに長くなるので残念ながら割愛します。

楠木正行の物語は最近まで宝塚歌劇団（阪急電鉄のエンターテイメント部門）の月組が「桜嵐記」という公演を行っていたので、ご存じの方もいらっしゃるかもしれません。ちなみに桜井の駅跡公園はJR京都線と並走する阪急京都線でも行くことができますが、最寄りの「水無瀬駅」は当初、「桜井ノ駅（さくらのえき）」という名前で開業したようです。気持ちは分かりますが、なかなかシュールですね。他にも桜井駅跡公園には乃木希典や東郷平八郎、近衛文麿らの筆による石碑があり、大いに歴史浪漫を感じることができます。お近くにお住いの方は、是非立ち寄ってみてください。

親子の別れのエピソードと言えば、伊達政宗が父である輝宗を拉致された際、犯人である畠山義継諸共に射殺したという「人取り橋の別離」等も有名です。日本史上ではこのような話は枚挙に暇がありませんが、平和な時代に生まれてよかったと、二人の息子を保育園に送っていく道すがら、つくづくと思います。

さて、ここまで親子々々と言ってきましたが、マーケットの世界で最近話題となっているのが、親子上場の問題です。親子上場というのは親会社と、その親会社が過半数の株式を保有する連結子会社がともに株式市場へ上場している状態を指します。海外ではあまり例がなく、親子上場の多さは日本株市場の特徴のひとつと言われています。親子上場のメリットは、子会社における資金調達能力や知名度の向上、優秀な社員の採用機会の拡大等が挙げられる一方、親子会社間での利益相反の惧れや、子会社利益の社外流出、少数株主利益が軽視される可能性等のほか、上場維持コストや、連結子会社であっても重要な意識決定の際は株主総会に諮る必要がある等の注意点も指摘されております。

近年はコーポレートガバナンスコードの改定により上場企業にはより高度な統治体制が求められております。また、最近の日本株市場の最大の関心事のひとつである東証再編では、浮動株比率（発行済株式数に占める、市場で売買可能な株式の比率）が重要なファクターとなります（親会社の保有株式は浮動株と見做されません）。マーケットの新たな潮流により日本株市場の伝統が変化していくのでしょうか。こういった点に着目して株式市場を見てみるのも面白いかもしれません。

解決編は来週掲載する予定です。お楽しみに。

東証における親子上場問題



参考文献：

今回ご紹介したそれぞれの項目については、執筆時点のWikipediaの記事を参考にしております。

また、サブタイトルは「天空の城ラピュタ」の主題歌「君をのせて」の歌詞からの引用です。